

農福学連携セミナー

アンケート集計結果

○開催日:令和8年1月16日(金)

○開催場所:岩木文化センター「あそべる」

○参加者:52名

・アンケート回答者:38名

うち農業者:17名

うち福祉事業所:10名

うちその他:11名

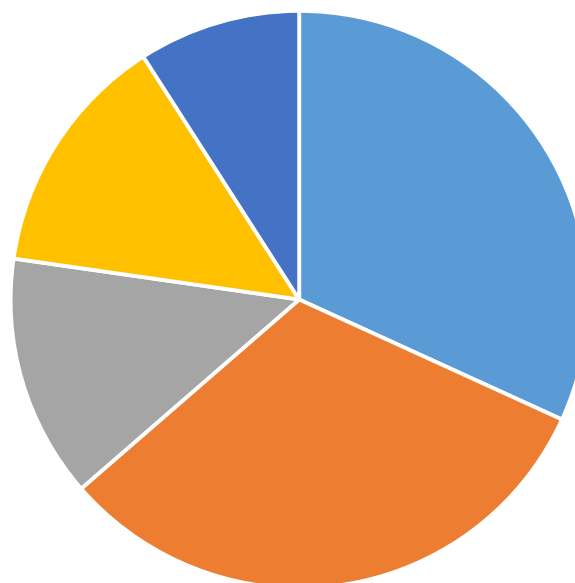
A 農業者への設問

① 補助作業員として障がい者等を受け入れても良いと思いますか（回答17件／いずれか一つに☑）

既取組者	はい	いいえ				無回答	計
		接し方がわからない	受け入れる体制が整っていない	メリットを感じない	その他		
7	7	0	2	0	1	0	17

② 障がい者等を雇用するにあたり、市に支援してほしいことはありますか（回答13件／複数回答あり）

相談窓口の整備	7	53.8%
補助金など支援制度の情報提供	7	53.8%
就労可能な作業を教えてほしい	3	23.1%
福祉事業所を紹介してほしい	3	23.1%
その他※	2	15.4%
計	22	-
回答者数	13	-
無回答	4	-



※「お願いしてはいけない作業」
「雇用時の書類整備等法律に関することが分からない。」

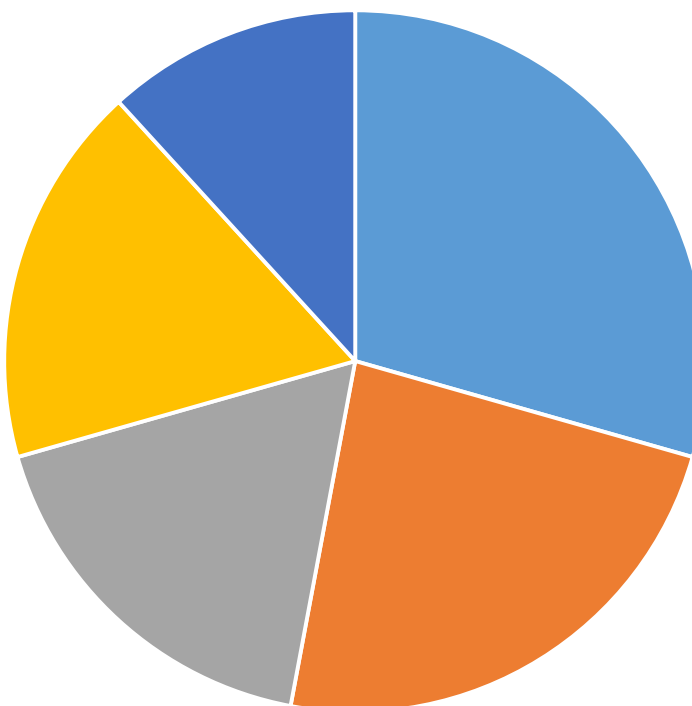
B 福祉事業所への設問

① 農福連携に取り組んでも良いと思いますか（回答10件／いずれか一つに☑）

既取組者	はい	いいえ				計
		引率できる職員が不足している	既存の作業で余裕がない	農作業ができる利用者がいない	その他	
6	3	1	0	0	0	10

② 農福連携に取り組むにあたり、市に支援してほしいことはありますか（回答9件／複数回答あり）

農作業を学ぶ機会がほしい	5	55.6%
農業者を紹介してほしい	4	44.4%
取組事例を教えてほしい	3	33.3%
相談窓口の整備	3	33.3%
その他※	2	22.2%
計	17	-
回答者数	9	-
無回答	1	-



- 農作業を学ぶ機会がほしい(55.6%)
- 農業者を紹介してほしい(44.4%)
- 取組事例を教えてほしい(33.3%)
- 相談窓口の整備(33.3%)
- その他(22.2%)

※「仮設トイレの設置」
「冬でもできる作業があれば紹介してほしい」

C 全参加者への設問

① 今回のセミナーについてお伺いします（回答38件／いずれか一つに☑）

（1）弘前市における農福学連携の成果発表について

参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	その他	無回答	計
32	0	2	1	3	38

（2）農福連携の事例紹介について

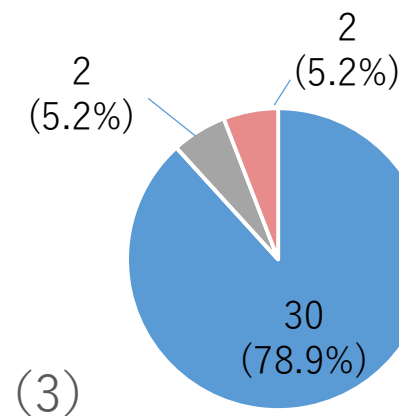
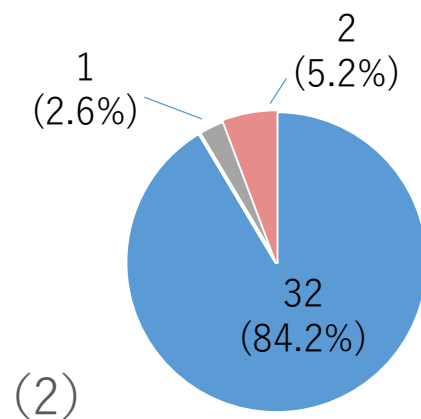
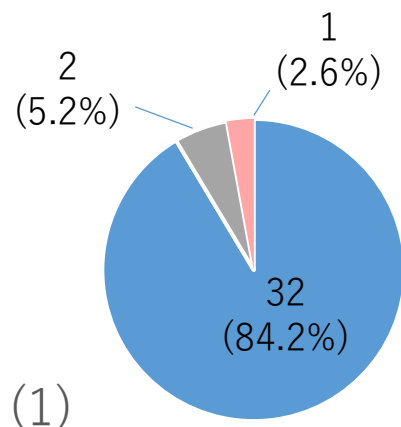
参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	その他※	無回答	計
32	0	1	2	3	38

※「多少話が聞きづらかった」

（3）農福学連携ディスカッションについて

参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	その他※	無回答	計
30	0	2	2	4	38

※「欠席」（第一部終了後退室）

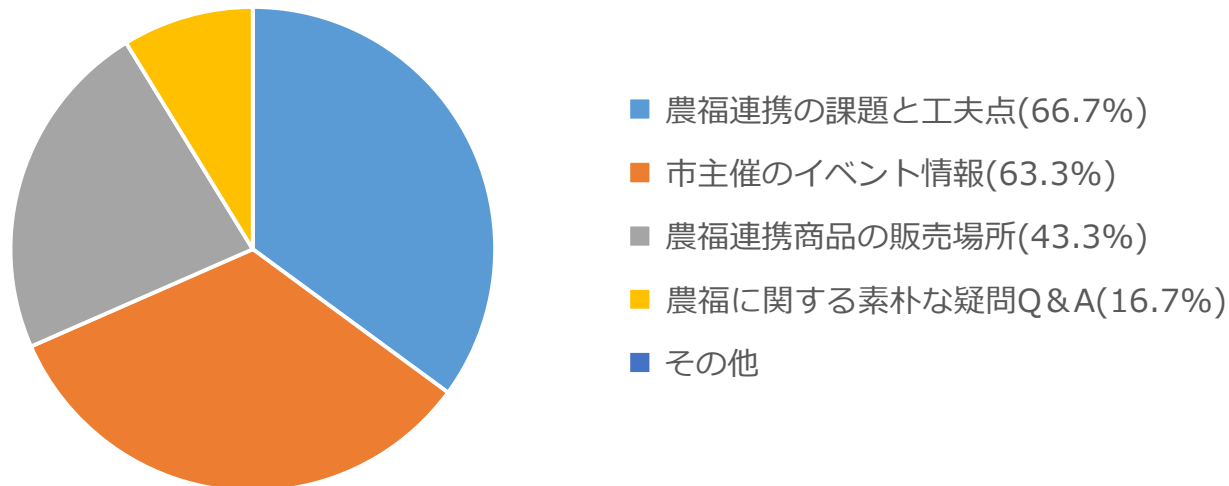


■ 参考になった ■ 参考にならなかった ■ どちらでもない ■ その他 ■ 無回答

② 「こんな投稿が見たい！」と思う内容をお選びください。（回答30件／複数回答あり）

農福連携の 課題と工夫 点	市主催のイ ベント情報	農福連携商 品の販売場 所	農福に関す る素朴な疑 問Q&A※	その他	計	回答者数	無回答
20	19	13	5	0	57	30	8

※「トイレは必須か？」
「給与・お金・補助金」



③ その他ご感想やご意見がありましたらご自由にお書きください

感想

- ・農福学のセミナーだけでなく、新規就農される方等にも聞いていただきたいと思います。
- ・実際の例や課題を知ることができた。
- ・りんご公園で本セミナーのチラシを見て参加しました。農家さんにも広く周知できればいいと思います。
- ・当社も農家さんの人手不足解消に向けて、微力ながら頑張っています。
- ・農福連携に興味のある学生として今回セミナーに参加したのですが、自身で想像のつかないような工夫や課題があり、とても参考になりました。非常に有意義な時間となりました。
- ・農福学連携において、実際の農家さんからの声がとても新鮮でした。障がいをお持ちの方々が農作業に従事するために必要なこと、心がけていることを知ることができ、いい機会になりました。自分の持ち場でも心に留めて、意識して障がいをお持ちの方に向き合って行きたいと思います。

意見・要望

- ・障がい者が生産者として独立することについては、独自に係る費用や信用問題から、果たして現実的かという疑問が出ます。また雇用就農が現在農地の維持や規模拡大に資していることは、農業が就職先の一つであるという事例発信であり、それだけで十分優れていると思います。
- ・冬でもできる作業があれば紹介してほしい。(りんごの箱詰め、マメコバチの巣作り等)
- ・実施する場合、これまで利用したマニュアル等流用できないか。社会保険や雇用保険等加入している農家が多いのか聞きたい。
- ・障がい者を雇用するのは大変そうだけど、作業の内容を絞ることで取り組めることを知ることができた。個人でも3人雇用している話が印象に残りました。畑は道も狭いし車を止めるスペース確保とか労災も必要になるだろうと、もし取り組むとなると課題山積みだと思う。
- ・通年雇用できる農家は限られていると感じる。規模が大きければ色々やれることも増えそうですが。
- ・今回は良いところがメインで出ていましたが、皆さんの不安を拾い上げる場所もあったら良いですね。
- ・不登校等の農福学も気になります。